01
6月 2023

あなたの人生の織物の色調は？

by NCM2 CHOIR

全3page

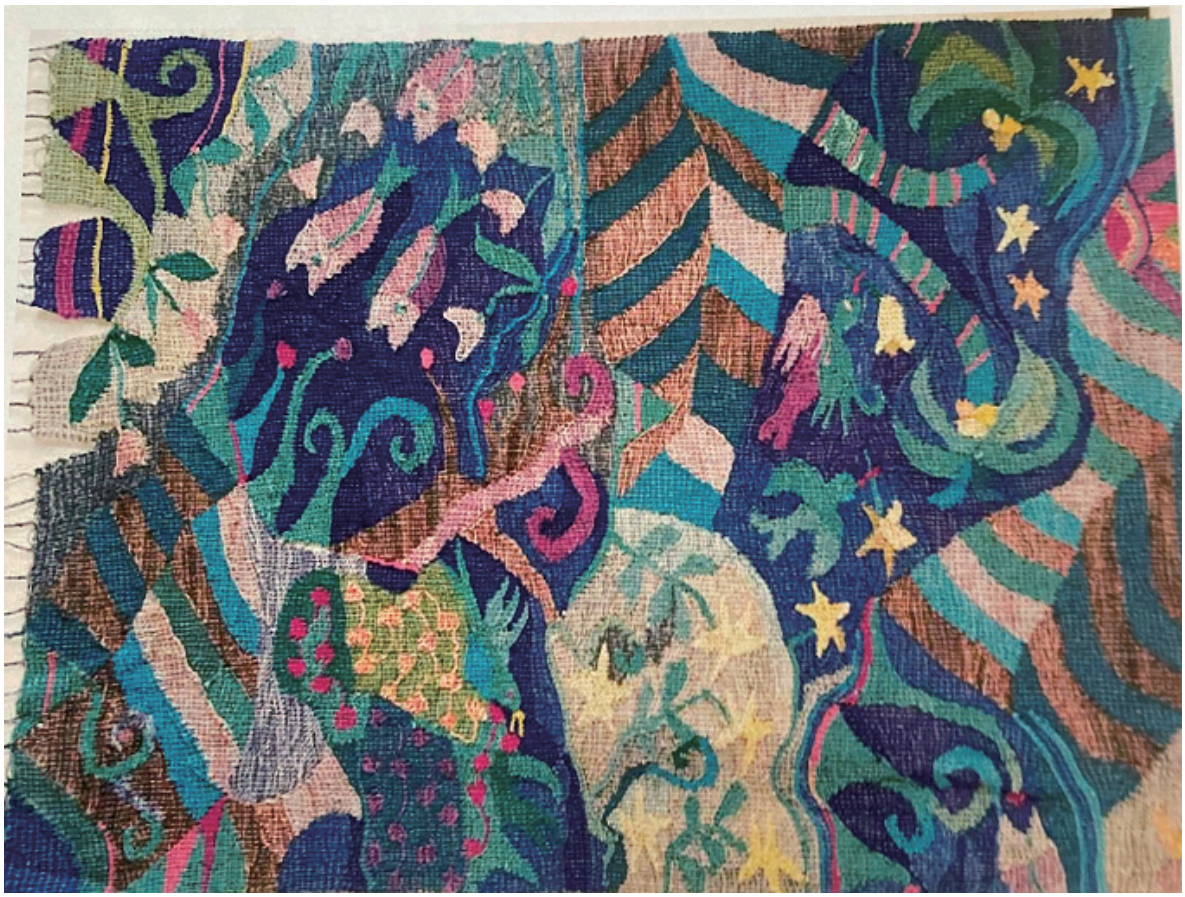
３年ぶりに帰った日本で、たまたま北カリフォルニアにいたときに教会関係で知り合った友人、小林 Gray 愛子さんのタペストリーの展示会が実家のそばでありました。タイミングよく見に行くことができました。

愛子さんはアメリカ暮らしですが、頻繁にそのユニークな作品を日本で紹介されています。彼女は美大生の夏休みに訪ねたコペンハーゲンの美術館で出逢った、インカの古布がきっかけで油絵から織物の世界を選ぶことになったそうです。また１９８５年に東京で美しいガテマラの民族衣装を見て大好きになり、このようなタペストリー（織物）の作品を生み出すことになったのです。ひとつの作品に３か月かかるそうです。

「絵具ではなく糸で絵を描くようになって４５年あまり、織りは絵を描くより私にはぴったりしていた。最後の筆のタッチを置くチャンスがどこかで悩むより、経糸（たていと）が終わった段階で失敗であろうが終わりにできるのだ。このピリオドを打てる感じが私にはあっていた。……緯糸（よこいと）を通す行為は祈りを超えて別の次元へとの旅立ちとなる。」と彼女は本、「aiko の織物日記」の中で語っています。

あなたの人生の織物の色調は？

by NCM2 CHOIR



天国のクリスマスという題のこの作品はクリスチャンであられた亡くなられたお母上を偲んでの作品です。

どれも彼女独特の色彩です。私は学生のころ、スタンダールの「赤と黒」の中の「人生とはどんな織物を織るかである」という言葉に魅せられました。私達、シニア世代は今、人生の織物の最後の仕上げのところですし、人生の半ばの方達は今織物を織っている最中ですね。果たしてどんな色合いのどんな模様の織物ができあがるでしょうか。一人ひとり個性ある、美しい仕上がりになることでしょう。愛子さんのこの織物のように各自独特なものとなることでしょう。

人生を織ってくださるのは神様です。

註：タペストリーとは、壁掛けなどに使われる室内装飾用の織物の一種。タペストリーは英語で、中期英語では tapissery といい、仏語の**タピスリ（tapisserie）**からきている。製織の技術では日本の平織の一種で、太い横糸で縦糸を包み込むことで、縦糸を見えなくして横糸だけで絵柄を表現する織物）に相当するものであり絨毯を作る要領で製作される。最盛期は中世末期であり、現在では、**ゴブラン織**とも呼ばれる。

竹下弘美

折尾クリスチャンチャーチ
住所 〒807-0873
福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6
電話＆FAX 093-692-9200（9:00～13:00）
メール oriochurch@outlook.jp
URL http://www.oriochristianchurch.net